書式第１２号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和　４年度　　事　業　報　告　書

特定非営利活動法人　訪問看護ステーションコスモス

Ⅰ　事業の成果

１．組織の基盤強化と確立（本部）

１）　学習会等の開催

今年度も新型コロナウィルス感染蔓延は変わらず、コスモス独自のNPO主催の学習会はZoom参加を含め3回開催した。

① 高齢者の尊厳をどう守るか-高齢者への虐待に着目して-［redacted］

② 誰もが安心して暮らせる社会を山谷の現状から考える

［redacted］東大名誉教授　［redacted］対談

③ 私の生い立ちから浜田クリニックへ　［redacted］

その他はコスモススタッフ独自の学習会を本部、寿共に実施した。（詳細に関しては各部署の報告を参照）

２）　地域連携・まちづくりへの取り組み

① 今年も地域ケア連携をすすめる会に参加した。

山谷地域で・生活保護受給者、路上生活者など生活困難な状況にある人々に対し各事業者が連携しネットワークの形成を目的とする会は、2022年度では第14期となった。コスモスからは2名事務局に参加しており活動を継続している。（詳細は健康相談参照）

② コスモス新聞（年3回の配布）は会員のみならず、地域の利用者、連携をおこなっている組織にも積極的に配布し、コスモスの日常活動への理解を深めてもらっている。

３）　定例会議の充実と専門職からの指導

① 職員数が60名をこえ、事業運営にあたっては法人事務業務の強化が大きな課題としてあげられる。

コロナ禍ではあるが理事会4回、本部管理スタッフ会議3回、各部署におけるスタッフ会議を実施した。コロナ禍で、十分に会議も実施することが出来なかったが、徐々に対面での会議を行えるようになってきている。

職員への面接は昨年同様実施し、面接内容を現場の改革に活かせるように取り組んだ。

② 税理士、社労士、弁護士と個別に契約し、各種制度の確立、職員の福利厚生の充実に努めた。

４）　新型コロナウィルス（COVID-19）感染対策への取り組み

今年度も新型コロナウィルス（COVID-19）感染蔓延に伴い、コスモス周辺も感染者が出現した。昨年同様に訪問している施設やデイサービス等で複数名の感染者が出、各部署で様々な取り組みを行ってきた。濃厚接触者との規定を受け、または疑われた職員は一定の休みをとった。

感染防御の物品の確保、日々の感染予防における消毒、個々における手洗い、感染予防についての学習等々を行い、また利用者様個別への対応を行ってきた。

① 本部訪問看護では感染予防に対する話し合いを行い「うつらない、うつさない」を基本として訪問看護の業務に務めた。感染者を出している施設及び感染者へは十分な防御を行い看護の提供を行った。

② デイサービスは 3 つの密が存在している場所として認識し日々開始前後の消毒を徹底し、参加前の検温を行い、発熱者は参加を断った。しかし、昨年度同様に参加者の感染者を出し、感染拡大を防止するためにデイサービスを一定期間閉鎖した。

③ 台東保健所より台東区内のコロナ感染者への訪問及び健康観察の依頼の連絡をコスモスが今年も実施した。訪問等の依頼が来た時には、訪問可能なステーション（8 か所）に訪問を割り振った。（詳細は訪問看護コロナ対応を参照）

5） その他

① 年に 2 回春と秋のお彼岸の法要ご遺骨の納骨、年末のお墓へのお参りとお花の供養は続けている。
・2023 年 3 月、3 柱納骨した。

② 台東区より災害時における障がい者の避難行動に対する計画書作成の依頼を受託した。約 50 人の聞き取りを行い避難行動の計画作成をした。

③ コロナ禍で中止していたレクリエーション（おさるの京ちゃんと三味線）をデイサービスの場で実施した。

2．本部訪問看護ステーション

1）職員状況

看護師 25 名（常勤 17 名　非常勤 8 名）理学療法士 1 名にて、訪問看護を提供した。（退職者 0 名・入職者 1 名）

2）訪問実績

長引く新型コロナウイルス感染症の蔓延により、本年度も感染予防対策の強化、陽性者の対応に努めながらの 1 年であった。2021 年 10 月より、東京都新型コロナウイルス感染症自宅療養者への訪問看護委託事業の台東区の窓口となり、台東区内の訪問看護ステーションおよび台東保健所と連携を図りながら、台東区内住民の陽性者訪問の実施・調整をおこなった（訪問実績 1 件）。

また、2022 年 10 月より電子カルテ（すぐろく）を導入し、業務・情報共有の効率化を図ったが、一部業務の見直しが必要になっている部分があり、電子カルテチームを中心に検討を行っている。

訪問実績、年間看取り数、新規依頼は昨年と比較し、ほぼ同様に推移しており、現場の忙しさは続いている。コロナ禍が長期化する中で 2022 年度は感染が落ち着いた時期を見計らって、11 月 10 日にコスモスのデイサービスの場とおはなで入居者・利用者とともにレクリエーションを実施、またクリスマスには利用者へクリスマスケーキを配布した。

3）連携について

・訪問介護者への医療行為等の実施指導（吸引・胃瘻手技）は 2 名の利用者に対して 4 件実施した。

・たいとう地域包括ケア推進協議会について昨年度同様、台東区訪問看護ステーション連絡会の担当役員

としてICT推進協議会（MCS）へ参加し、多職種連携、地域包括ケアの推進に努めた。

・地域ケア連携をすすめる会においても定期的な会議に参加し、特に昨年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延時の連携について深めている。

4）学会および外部発表

・9月3日　第53回東京ストーマリハビリテーション研究会「在宅でのストマケアと困難事例」 [redacted]

・9月18日　第27回　日本臨床死生学会において事例研究発表 [redacted]

・10月10日　第37回保団連医療研究フォーラム　「新興感染症対策と日常診療の確保」にて
コロナ禍の訪問看護　「コロナ禍であっても今目の前にいる利用者の命に寄り添う」 [redacted]

5）新型コロナウイルス対策

今年度も、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、感染予防対策の強化、陽性者の対応に努めながらの1年であった。特に第7波では利用者とともに職員も多く罹患した。なお、1年間でコスモスの利用者は45名の陽性者がいた。入院加療が困難な利用者もおり、特別訪問看護指示書のもと（16件）PPEの徹底・体制を整えながら訪問看護を継続した。また職員に関しては、東京都の定期的抗原定性検査を実施した。

＊感染蔓延時は一時的に利用者の状況に応じて、トリアージし訪問看護を休止、回数を減らすなどして感染予防に努めながら、状況に応じて訪問看護を提供した。また職員各々が協力しあい、最新情報の収集、伝達、さらに、助成金を活用し衛生物品の確保に努めた。

＊東京都訪問看護ステーション協会の「新型コロナウイルス感染症の自宅療養者等への訪問看護事業」の一環としてコスモスが台東区訪問看護ステーション連絡会の事務局（台東区内では8ステーションが参加）となり、台東保健所と連携をしながら窓口や陽性者の訪問の実施機能を果たした（コスモスでの実績は1件）。

6）質の向上・外部評価への取り組み

本年度も情報公開の調査（書類提出のみ）が実施された。今年度も、学習会係が中心となり年間予定を立て、月2～3回程度木曜日のお昼の時間帯を活用して実施している。またリモート研修が増えたことから、お昼の時間帯や夕方の時間帯に希望者で参加することも増えている。

2021年度介護保険の報酬改定により、感染予防対策委員の設置や認知症への取り組み強化、事業継続計画（BCP）などの実施が求められている。これらについても、2022年度も担当者が中心となり継続的に実施していた。今後は第3者評価も取り入れ、質の維持・向上に努めていく。

＜NPO学習会＞

NPO学習会は、1階のデイサービスの場を利用してハイブリッド型で開催したことから参加がしやすくなり、参加者数が増えている。

・7月8日　「誰もが安心して暮らせる社会を山谷の現状と課題から考える」
東京大学名誉教授 [redacted] と飯館村いいたてクリニック [redacted] 対談
ハイブリッド型にZOOM約80名と現地30名の参加となった。

・9月2日　高齢者の尊厳をどう守るか一高齢者への虐待に着目して一
淑徳大学　総合福祉部　社会福祉学科 [redacted]

・2月24日　「私の生い立ちから浜田クリニックへ」　浜田クリニック院長　精神科医 [redacted]

7）在宅看護実習

昨年度は、実習の受け入れを見合わせていたが本年度は、感染の状況に応じて、教育機関と協議の上、訪問件数の調整や実習直し等行うなどの感染予防策に努め、実習の受け入れを一部再開している。カリキュラムの変更となったことから、依頼の日数が増え年間通して実習の受け入れている状況である。2023 年度は在宅ケア専門看護師と訪問看護認定看護師の実習を受け入れる予定である。

2022年度 実習実績表

学校名・団体名	実習名	学年	期間(自)	期間(至)	日数	人数
【訪問看護】						
板橋中央看護専門学校(1G)	在宅看護論実習	3	2022/6/6	2022/6/9	4	2
板橋中央看護専門学校(2G)	在宅看護論実習	3	2022/6/27	2022/6/30	4	2
板橋中央看護専門学校(3G)	在宅看護論実習	3	2022/10/3	2022/10/6	4	2
板橋中央看護専門学校(4G)	在宅看護論実習	3	2022/10/17	2022/10/20	4	2
国際医療福祉大学成田看護学部(1G)	終末期ケア実践実習	4	2022/7/11	2022/7/14	4	2
国際医療福祉大学成田看護学部(2G)	終末期ケア実践実習	4	2022/7/19	2022/7/21	3	2
順天堂大学	在宅看護	4	2022/5/9	2022/5/12	4	2
順天堂大学	在宅看護	4	2022/5/16	2022/5/19	4	2
順天堂大学	在宅看護	4	2022/5/23	2022/5/26	4	2
順天堂大学	在宅看護	4	2022/5/30	2022/6/2	4	2
順天堂大学(1G)	在宅看護学実習	3	2022/11/7	2022/11/17	8	2
順天堂大学(2G)	在宅看護学実習	3	2022/11/21	2022/12/1	8	2
聖路加国際大学①	地域・在宅看護学実習	4	2022/6/7	2022/6/14	5	2
聖路加国際大学②	地域・在宅看護学実習	4	2022/6/21	2022/6/28	5	2
聖路加国際大学③	地域在宅看護学実習	3	2022/11/29	2022/12/6	5	3
聖路加国際大学④	地域在宅看護学実習	3	2022/12/13	2022/12/20	5	2
聖路加国際大学⑤	地域在宅看護学実習	3	2023/1/11	2023/1/18	5	3
聖路加国際大学大学院	保健師習得実習		2022/9/20	2022/9/22	2	12
千葉大学看護学部	統合実習	4	2022/7/14	2022/7/21	5	3
帝京大学	地域・在宅看護学実習	3	2022/11/8	2022/11/17	7	2
東京医科歯科大学(1G)	在宅看護学実習	3	2022/10/3	2022/10/7	4	4
東京医科歯科大学(2G)	在宅看護学実習	3	2022/10/17	2022/10/21	4	4
東京医科歯科大学(3G)	在宅看護学実習	3	2022/10/31	2022/11/4	4	4
東京医科大学　医学部看護学科	在宅看護基礎実習	2	2022/9/6	2022/9/15	8	2
東京医科大学　医学部看護学科	統合実習	4	2022/6/10	2022/6/24	12	1
東京慈恵会医科大学　医学部	ケア実習	3	2022/9/5	2022/9/9	5	1
東京都立大学①	臨地地域在宅看護学実習	3	2023/1/24	2023/1/27	3	2
東京都立大学②	臨地地域在宅看護学実習	3	2023/1/30	2023/2/2	3	2
上智大学大学院	スピリチュアルケア		2023/2/6	2023/2/10	5	6
合計					142	79

8）リスクマネジメントの取り組み

2022 年度のインシデントレポートの件数は 104 件であり、2021 年度と比較すると 25 件も多く提出されていた。最も多いのは昨年同様に服薬に関すること 26 件、訪問スケジュールの誤調整が 13 件であった。週に 1 度の読み合わせをしたことにより、リスクに関する個々の感性が高められ、結果としてレポートの数が増えたと考えられる。事故発生から読み合わせまでの期間が短縮されたことで、よりその時の状況を鮮明に振り返ることができ、また早期に解決策を検討することができている。

2022 年度インシデントレポートの数・種類

	内容 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療事故	服薬	5	1	3	1	2	3	6	2	0	1	0	2	26
	ストマケア	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	医療処置	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0	1	0	7
	医療機器の取り扱い誤り	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	麻薬に関すること	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	薬液の種類・投与方法の誤り	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	5
ケア事故	皮膚損傷	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	4
	爪切り	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	5
	転落・転倒	0	1	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	6
	エンゼルケア	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	家屋環境	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4
事務的作業ミス	訪問スケジュールの誤調整	0	1	1	2	0	2	2	0	1	3	0	1	13
	FAXの誤送信	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	伝達忘れ	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	5
	忘れ物/紛失	0	1	0	1	0	1	3	1	3	0	0	0	10
	交通事故	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	合計	11	5	9	10	8	9	17	7	11	6	6	5	104

3．訪問看護ステーション　コスモス寿

1）スタッフ状況

・常　勤　3 名　・非常勤　3 名　・事務員　1 名

2）利用者状況

2022 年度の訪問実績は、3968 件でここ 5 年間は回数的にはそれほど変化はないが、前年度より 140 万円ほど増収となっている。3 年続いたコロナ禍での活動としては、引き続き健闘したと考える。

1 ヶ月の平均利用者数は、50 名前後（医療 7：介護 3）で、ほとんどが男性で女性は 4 名のみ。全て単身生活者で、98%が生活保護受給者。全体の 68%以上が精神疾患の方で、介護保険での利用者は少なく医療保険、特に自立支援医療での利用が多い状況は今年も変わらない。

疾患別では、介護保険が、1 位悪性腫瘍、2 位脳梗塞、脳出血後遺症で介護度の平均は要介護 2.6、医療保険は、1 位　統合失調症（25 名）2 位 糖尿病(6 名)　アルコール依存症(6 名)である。精神科の GAF 尺度の平均は 66.8(前年度-4.2)

ケア項目としては、インスリン注射（6 名）・ストーマ管理（4 名）・服薬管理・褥瘡（DESIGN3～4）創傷の処置、疼痛管理・食事指導、生活指導、就労支援（精神障害者の作業所に 6 名通所中）等である。

年齢構成は、50 歳台が 34.4%で最も多く、次が 70 歳代で 27%、寿地区の状況と酷似している。一

番若い方が 44 才、最高齢が 92 歳。　訪問エリアは、寿地区の簡易宿泊所が中心でアパートの居住者は現在 2 名のみである。

寿地区の状況は、2022 年度の寿福祉プラザの統計年報によると簡易宿泊所は 115（3 件減）軒。人口全体は 234 人減で 5403 人（女性 285 人）65 歳以上は 143 人減少し 2988 人。高齢化率は 55.3%で、昨年度より 0.2 ポイント下がる（全国 29.1%・横浜市は 24.9%）65 歳以上の要介護者数は 898 人で全体の 30%、その 76%が要介護 3 までの方で、要介護 5 は 0.7%と少ない。コスモス寿の利用者も 70%が要介護 3 までの方となっている。

3）2022 年度の目標と結果

① コロナ禍での経験を踏まえて、体制にあった BCP の策定

2024 年度の完全義務化に向けて、リモートでの策定研修を何度か受け、自然災害、感染症対策、業務継続力強化計画を最終的には訪問看護事業協会の BCP 策定を参考に作成した。

特に感染症対策においてはコロナウイルス対策がベースとなっている。

② 新体制（管理者の交代）に向けての準備と整備

令和 5 年 5 月 1 日付で管理者を、[redacted]から[redacted]に交代する予定である。

2022 年 11 月に非常勤 1 名採用した。新体制にはスタッフ確保が最重要課題として継続している。

〈研修は全てリモートでの参加〉

認知症対応力向上研修、コロナ禍における医療安全、コロナ禍での訪問看護師の役割とミッション
高齢者の食支援、栄養ケア、日本褥瘡学会、訪問看護サミットなど多数参加

4．居宅介護支援事業

1）職員状況

ケアマネージャー 4 名（内主任ケアマネージャー 1 名）

2021 年度からの変更無し

2）ケアプラン数

（単位：件）

	2022 年度実績	2021 年度実績	前年度比較
ケアプラン総数	880	820	＋60
内訳（要介護）	765	715	＋50
（要支援）	115	105	＋10
新規プラン（要介護）	19	18	＋1
（要支援）	0	7	－7
終了プラン	17	13	＋4

・ 月平均のケアプラン数は 73 件あった。（要介護者+要支援者）（前年は 68 件）。入院や入所が少なく稼働の実績は伸びている。

・ 地域包括支援センター、病院、きぼうのいえ・おはな等近隣の NPO 団体が運営する施設、知人からの紹介等多方面から依頼があった。

・訪問看護ステーションと併せて依頼が来ることがあったが、ケアマネジャーの受け持てるケアプラン数が決まっていることで、断ることがあった。
・癌ターミナル期のケアプランが増えたことで、終了者数が増加している。介護認定の申請前もしくは申請中に退院され、認定が下りる前に暫定でケアプランを作成することが多かった。また、サービスの利用期間は短いことが特徴である。

3）利用者の内訳

・介護度の分布　（単位：人）

介護度	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	合計
要介護 5	0	0	3	3	1	7
要介護 4	0	3	6	5	1	15
要介護 3	0	3	5	5	3	17
要介護 2	1	0	6	10	5	22
要介護 1	0	3	10	5	3	21
要支援 2	1	0	1	3	2	7
要支援 1	0	2	0	3	0	4
合計	2	11	31	35	14	93

・男女別人数　（単位：人）

	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	合計
男性	2	9	26	16	8	61
女性	0	2	5	19	6	32

・生活保護受給者　（単位：人）

	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	合計
男性	1	6	23	10	2	42
女性	0	0	1	4	1	6

・保険者情報　（単位：人）

保険者	台東区	荒川区	墨田区	新宿区	小平市	文京区	豊島区	葛飾区	練馬区
件数	83	2	1	1	1	2	1	1	1

上記より、台東区に住む要介護１～２の 70 歳代男性が多い傾向にある。生活保護受給者は一般利用者より少し多く、55%と昨年と同じ割合になっている。
山谷にある旅館に住んでいる利用者は年々減ってきており、NPO 法人が運営する施設やアパートに住んでいる利用者が増えている。
山谷地域の連携の基盤が整った結果として、包括的なケアやサービスが充実し、単身の要支援・要介護状態の方でも安心して生活できることが可能になっていると考えられる。

4）ケアマネの活動

① 主任介護支援専門員（1 名）、介護支援専門員（2 名）更新研修を終了した。
② 要介護認定調査の依頼を 5 件、台東区避難行動要支援者個別支援計画の調査を 4 件受けた。

③　ケアプラン作成のほかに、住み慣れた地域で利用者が安心できるように、受診同行や環境整備など制度の枠に当てはまらない部分も寄り添い支援を行った。

④　台東区主催の質の向上研修や地域包括支援センターで行われるケアマネジャーの集いに積極的に参加して知識向上に努め地域の連携も強めることが出来た。

⑤　定期会議は年4回実施した。

5．通所介護事業

1）職員状況

・常勤職員　2名　　・非常勤職員　16名

2）利用者動向

新規登録利用者 … 27人/年

契約終了者 … 25人/年　内訳 ➡

施設入居	9人
長期入院	7人
ADL低下等	5人
その他	4人

	2022年度(256日)
1日平均利用者数	15.09　人
中重度割合	50.6　%

● 利用者の居住に関して

施設入居者の割合が42%となっており、2年前より20%減少している。

簡易宿所での独居の利用者は減少している。家族のいる独居利用者の割合が増加傾向となっている。

● 平均年齢

82.5歳昨年と比較し1歳ほど上昇している。90歳以上の利用者が11人となっている。

● 中重度（介護度3以上）割合

昨年と比較し10%ほど上昇し50.6%となっており、年齢上昇に伴い介護度も上がる状況となっている。

● 稼働率

本年度もコロナ感染症の影響を受けた。

感染者の連鎖は起きなかったが、濃厚接触者となり、利用できない利用者が多数見られた。

1日平均人数15.09人/日であり昨年より1.2人/日減少。稼働率も、79.4%となり昨年より6.2%減少となっている。

3）レクリエーション

● 季節行事は、コロナ感染症対策を講じたうえで、動きを最小限にしながら継続実施した。

● 通常レクリエーションは、ＤＡＭコンテンツを主軸に、音楽療法・工作活動を回復拡大した

4）その他

- 水害・土砂災害防止法の改定により、防災マニュアルを修正と一部新設。
  図面上訓練を含め、3回避難訓練を実施。
- 台東区の事業者連絡会の通所部会にZOOM参加。

6．コスモスハウスおはな

1）職員状況

職員数：常勤1名、非常勤9名、ボランティア2名

配　置：日勤1～2名、宿直1名、昼・(清掃・食事補助）各1名

2）入居者の現状

① 入居者数

12名　　男性7名　女性5名

② 入居者の変動

入所4名（男性2名女性2名入所）退所5名（女性1名男性4名）

※ 退所5名は、おはなで看取り、うち4名はコスモスのお墓へ納骨、1名は家族が引き取られた。

③ 年齢構成

	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
2023年3月末	1名	1名	—	6名	1名	3名	12名
2022年3月末	1名	1名	—	4名	5名	2名	13名

④ 主な疾患

認知症、心疾患、肝疾患、糖尿病、視力障害、聴覚障害、脳梗塞後遺症等、うつ病、多系統萎縮症、慢性腎不全、甲状腺がん、乳がん、COPD

内科の通院は2名、他は訪問診療を受けている。また精神科の訪問診療を2名が受けており、眼科、耳鼻科、泌尿器科、歯科などの他科受診を複数受けているものもいる。

⑤ 介護、障害に関する状況

・要介護度4以上の方が8名、医療、介護サービスを利用している。

- ・通所サービスは8名が利用し生活のリズムを整えている。
- ・精神の自立支援医療を3名が利用
- ・訪問リハビリは2名が利用中である。
- ・介護保険受給者：11名
- ・身体障がい者手帳保持者：5名

※訪問介護利用者：12名、訪問看護利用者： 12名、通所介護利用者： 8名

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他
2023年3月末	0名	0名	3名	4名	4名	1名
2022年3月末	0名	4名	2名	3名	3名	1名

⑥ 福祉事務所

台東区8名、文京区1名、小平市1名、荒川区1名と他区とも連携あり。そのほか自費1名。

3）2022年度のまとめ

① 1月に東京都福祉保健局指導監査部による実地検査指導が行われた。

指導事項：・日報　・宿泊所利用契約　・金銭管理　・個別支援計画書

・夜間の避難訓練を想定した話し合い　・災害及び緊急時連絡網の作成

② 新型コロナウィルス感染症患者の発生について

・2022年　7月に入院中の利用者1名が院内感染され療養が長引いたが無事退院した。

・8月より入居者の朝夕の検温を継続。入居者の感染者はいなかった。

③ コスモスアパートの入居者、近所のアパートの方への夕食の提供

・「おはな」で昼食、夕食あわせて3名が利用。服薬の介助も行っている。

・コスモスアパートゆいの入居者への安否確認を夕食の配食の時に実施している。

・月に1度の特別メニューは大変好評で特にマグロの漬け丼は人気である。

・季節に合わせ、季節感を味わえる和菓子を添えてお出しした。

・食事形態を刻みや、ペースト対応が必要な方が数名おり、食事介助をしている。

・外部からのおはなのお風呂を定期的に利用される方が増えた。

④ 金銭管理の必要な方が7名、そのうち社協利用が3名、後見人制度利用が1名。

⑤ 年に1回、一般社団法人全国日常生活支援住居施設協議会の会員として研修に参加。

個別支援計画書作成、運営、支援理念などを学ぶ。2か月に1回、台東区、中野区、仙台市の日住会員でzoomミーティングを開いている。

⑥ 水道料金免除

被保護者は共同住宅扱いの適用であれば水道料金が免除される制度を利用し、12名が免除された。

7．支援付きアパート

コスモスの理念に基づき「住み慣れた地域で最期まで暮らせる場」として支援付きアパートを開設し、今年で13年目を迎える。

1）コスモスアパートの支援体制

① 各入居者が医療（往診医・看護師）、介護サービスを受けながら生活。

② コスモス職員（看護師、事務職員）による見守り・支援・相談を実施。

③ 近隣の施設「コスモスハウスおはな」で食事を提供。

2）コスモスアパート「にじ」・「ゆい」の状況

○コスモスアパート「にじ」　入居者7名（定員8名）（2023年3月31日現在）

・新規入居者1名　2022年4月入居

・転居者　1名　2023年3月転居

2022年8月より病院に入院、2023年3月に退院を機に併設施設「コスモスハウスおはな」に転居。

・3月31日現在1室空室となっている。

○コスモスアパート「ゆい」　入居者5名（定員5名）

・今年度、新規入居者/退去者はなかった。

○交流会

アパート入居者同士や職員との交流会はコロナ禍のため自粛を継続。

しかし、クリスマスにケーキと年末のおせちの配布は継続した。

3）安全対策

コロナ禍において入居者１名が感染。自宅療養となったが、その後の感染拡大はなかった。

職場内にＢＣＰ委員会が設置されており、災害対策への啓蒙活動と防災備蓄の呼びかけがあり、各部屋に防災備品を配布し入居者の安全、安心確保を実施した。

8．健康相談事業

1）敬老室健康相談

毎週木曜日・第４土曜日（医師同行）に城北労働福祉センター（以下センター）分室敬老室にて、14 時から健康相談を実施している。

2022 年度は 118 名の方が利用されている。相談者数は昨年度より 38 名減少している。感染状況に応じての施設の閉鎖はなかった。敬老室の利用者全体も減少している利用者数は年々減少傾向となっている。相談利用者は定期的に相談される方が主となっており、ほぼ固定化している。予防的に感冒薬・胃薬・湿布を希望される方が多く、1 日分配布も継続しているが、ほとんどの方が医療機関への通院はできている。

2）娯楽室健康相談

第２水曜日・第４土曜日の 15 時 30 分～17 時 30 分まで、センター娯楽室にて健康相談を実施した。相談者数は 296 名であり前年度から 25 名減少している。娯楽室利用者は検温、体調確認、アルコール消毒実施、飲食は禁止にて感染予防を継続。クラスターの報告はなかった。相談者は、定期的な利用者が主であり、感冒薬や胃腸薬の配布を継続した。発熱や咳等の呼吸器症状の訴えの方は殆どなくコロナ感染を疑う方の報告はなかった。適切な医療に繋がっていない方の相談や制度利用に関する相談も数件ありセンター相談室を紹介しており、また区役所への相談パンフレットをセンターが作成し希望者に配布も開始している。

3）よせば健康相談・簡易旅館巡回健康相談

①よせば健康相談

月～金曜日まで 9時30分から11時00分まで、センター１階にてよせば健康相談を実施している。相談者は 2251 名であり前年度より 255 名減少している。利用者の内訳は生活保護受給者 758 名（-333 名）・路上 697 名（-187 名）・その他 796 名（＋172 名）となっている。年代別では 50～60 歳代が減少、70 歳代以上が増加されており、利用者の高齢化がうかがえる。連日血圧測定目的にて利用される方も多く、地域での健康相談として成果を得ている。また路上生活の方を医療や制度につなぐ窓口の目的もあり、健康状態や生活状況に応じて相談窓口へ繋ぎ緊急性の医療処置 や生活相談を実施している。また服薬への聞き取りを実施し療養指導の一端を担っている。結核を疑われる症状と類似する事もある為職員と話し合い、感染症状が疑われる路上生活の方に関してはセンター対応とし、生活保護受給者はケースワーカー相談・かかりつけ医相談等対応を周知していく。

②簡易旅館巡回健康相談

センターから依頼された簡易旅館を廻り、宿泊されている方への健康相談を週 2 回実施した。40 件の依頼を受ける。感染状況に合わせて、防護服着用し巡回継続する。第 8 波の感染状況ひっ迫時は、管理人へ電話をし、宿泊者の環境や生活状況の聞き取り調査を実施した。 コロナ感染での救急搬送事例はなかった。 相談者の多くは生活保護受給者であり、宿泊者の多くは医療に繋がっており相談の必要性は無いと巡回を断られるケースもある。 地域全体の高齢化に伴い日雇いの方への相談はほとんどないが、巡回相談を通し、管理人との情報交換、またコスモスの活動を理解していただく機会となっている。

4）山谷地域越年対策医療援護業務

2015 年度より東京都から委託事業を受け、2022 年度も下記の健康相談を実施した。
越年相談所医療室診療 12 月 29 日 9 時より、11 時までセンター2 階にて越年対策の宿泊前健康チェックを医師 1 名と看護師 2 名 で実施した。防護服着用、事前の検温、聞き取り調査実施。
宿泊希望者は昨年度と変動ほぼなし、体調不良の方もほぼなく相談者は 3 名であった。

9．板橋寮事業

1）目的

路上生活者対策事業の一環として、特別区内（23 区内）の道路・公園・河川敷等で路上生活を余儀なくされている方、またはその恐れがある方の一時的な保護・就労による自立など、路上生活からの早期社会復帰に向けた支援を行う、東京都と特別区の共同事業である。

2）コスモスの業務

① 巡回相談事業（週 1 回月曜日）
② 入居者の健康状態のアセスメント及び健康相談事業（月～金：各 2 時間）

3）2022 年度の報告

① 巡回相談事業

路上生活者へアウトリーチを行い必要な支援につなげることを目的とした事業である。2015 年度より 1 回/週、担当職員 2 名に同行し、健康相談を実施している。看護師同行時は、医療ニーズの高い方を優先して巡回している。看護師同行時相談者数は延べ 132 人、1 回平均 1.0-4.9 人である。

対象者は、路上生活が長期化している高齢者や、精神疾患や発達障害が疑われたり、トラウマの背景から関わり自体に拒否がある方も少なくない。限界まで支援を望まない方が多く、本年度は路上が長期化していた対象者 1 名が救急搬送・入院、1 名の方が亡くなられ警察対応となった。

一方で、看護師が巡回同行していた 4 名の方がアパート入居、2 名の方が巡回時に役所に同行し施設入所に繋がり、必要な時に SOS を出せる信頼関係の維持と疾患やトラウマの背景に考慮した関わりが求められる。

② 健康相談・健康状態のアセスメント

1. 入所者の健康状態

健康相談件数は月平均 32.8 件（前年度 31.3 件）であり、そのうち嘱託医の診察を経て医療機関に紹介された件数は月平均 19.8 件（前年度 19.8 件）と前年と同数であった。多い診療科としては、高血圧・糖尿病等の生活習慣病を中心に内科が月平均 4.1 件、歯科が月平均 4.8 件、整形外科および皮膚科が月平均 2.2 件程度と、前年度と傾向は同様である。路上生活という衣食住が不安定な状況下での医療アクセスの困難さから、慢性疾患の治療が中断され、重症高血圧が放置されていることも多い。口腔内の衛生状態が悪いことも特徴の一つであり、歯磨きをするといった生活習慣がなく、齲歯を長年放置した結果、年齢の割に歯牙欠損が多い傾向がみられる。

複雑な成育歴・社会背景を抱え、不眠や不安、うつ症状を訴え、心理的なフォローを必要とする入居者は顕在するが、入寮時のアセスメントのみでスクリーニングすることには困難さを感じている。適宜、心理相談担当の職員及び精神科嘱託医（月 1 回）と情報交換を図り、対応している。

2. 感染症対策

昨年度に引き続き、センター全体として、スタンダードプリコーションの徹底を実施している。健康相談室の対応としては、アルコール消毒・マスクを相談室に常備し、相談者との間にビニールカーテンを設置するといった環境整備、関連症状の問診を徹底している。有症状者に対しては、個室に隔離し体調フォロー、必要時 PCR 検査できるよう対応している。

寮内には静養室（個室）が 3 室しかなく、感染疑いの者が発生した場合の隔離環境が十分ではない。しかもトイレが共用であるため、確実な予防策をとることが困難である。また陽性者が出た場合、濃厚接触者が職員、入居者と多数に及び、クラスター発生のリスクも高いことが懸念される。

昨年度は、23 名の入所者が PCR 検査/抗原検査を受け、17 名の陽性者が確認された。陽性判明の場合、直ちに借り上げアパート又は都が用意した宿泊施設等へ移動して頂き、同室者は濃厚接触者として、外出を制限、他入所者と動線が交わらないように対応し、職員に健康観察を依頼した。

インフルエンザ予防に関しては、例年通り、健診先の病院および寮内にて予防接種が実施された。結核対策としては、疑いのある利用者については喀痰採取、個室管理とし、医療機関と連携することとなっている。今年度は結核、インフルエンザの発生はなかった。

１０．地域への健康相談ボランテイア活動・その他

１）イベント参加

① ふるさと主催 越年炊き出しに参加し 12/31・1/3 健康相談や市販薬提供を通常通り実施した。

② ひろば祭はコロナ感染拡大予防にて 2022 年度も中止となっている。

２）地域ケア連携をすすめる会

山谷地域における居住支援や生活支援・社会サービスの事業者が連携しネットワークの形成を目的とする会も 2022 年度第 14 期となっている。コスモスからは 2 名事務局に参加しており活動を継続している。

＊2022 年度活動報告

・定期的に事務局会議・運営委員会を zoom 開催し、意見交換や情報共有を行った。

・感染終息傾向に伴い、3月の運営委員会からは対面での開催となった。

・運営委員会議事内容

2022年 5月　「BCPと災害対策について改めて考える」

2022年 7月　「山谷地域の水害時の避難確保に関して考える」

2022年10月　「感染拡大の第7波を振り返る」

2022年12月　「山谷の地域ケアと支え手のこれから」

2023年 3月　「山谷地域の看護，介護，生活支援のお仕事説明会」

＊災害時等における山谷地域のケア継続に向けて、「清川貸家」事業

感染症流行時、感染拡大予防目的、感染した簡易宿泊所宿泊者や住まいを喪失した方のシェルター運営をコスモスも世話人会に参加し本年度も継続した。

11名が利用し、コロナ感染だけでなく療養や入院の待機場所とし有効活用された。

１１．東京都委託事業『新型コロナ患者在宅療養者への訪問看護』事業

2021年8月に入り、感染拡大時に毎日約300人以上の入院待機者が生じており、急激な体調変化が発生するリスクが生じていたことから、訪問看護師と連携し、日々訪問が必要な自宅療養者や入院待機者等の健康観察が開始となった。

台東区は、窓口をコスモスに置き、コスモスを含めた8ステーションで事業を実施した。

事業期間：2021年10月1日から、2023年5月7日までを予定している。

期　間	稼働日数	健康観察	備考
2021年10月～2022年3月	152日	2回	1月1回（コスモス）
			2月1回（他ST）
2022年　4月～2023年3月	295日	3回	7月1回（他ST）
			8月1回（コスモス）
			1月1回（他ST）

１２．いこいの間コスモス

１）活動概要

路上生活者を中心とした方々に第1、第3土曜日の月2回12時～15時、デイサービスの場所を開放し、入浴・喫茶・娯楽・衣類提供・健康相談を行うボランティアとして活動。

２）2022年度活動報告

①　過去3年間の参加者数

総　合	全　体	男　性	女　性	新規登録	入　浴	散　髪
2022年度	277	260	17	6	124	125
2021年度	196	173	23	0	87	66
2020年度	270	255	15	11	130	76

②　3月末現在の登録者数は、693名

③　入浴、散髪、お菓子・衣類の提供

④　健康相談では希望者に、薬の配布

⑤　利用者の 70%は路上生活者

3）スタッフ・ボランティアの状況等

2022 年度もコロナ禍だった為、ボランティアは入れず固定スタッフ 2～3 名で対応した。

4）必要物品について

定期的に衣類の寄付はあるが、足りないものについては、その都度購入している。

購入品：　お菓子、飲料、下着、靴下、規格外の衣類など

5）利用状況について

以前行っていたカラオケ・映画鑑賞は行わずテレビ鑑賞のみ。感染状況が落ち着いてきてからは、喫茶でコーヒーやお茶の提供のみ行い、お菓子は持ち帰り用を準備して渡した。入浴は夏はシャワーで、寒くなってきてからはお湯を入れたお風呂を提供。散髪は毎回希望者に行い、また衣類や薬の配布も行った。

書式第１２号（法第２８条関係）

Ⅱ　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　（事業費の総費用【 259,809 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
介護保険法に基づく訪問看護事業、介護予防訪問看護事業、通所介護事業、居宅介護支援事業、第1号通所事業	介護保険法に基づく訪問看護事業、介護予防訪問看護事業 【山谷地区】 山谷地域を含む高齢者・障がい者・生活困窮者の医療・看護を要する人に対しての訪問看護を実施した	原則、祝日・日曜・年末年始は休みであるが必要時訪問する。 また緊急時24時間体制でサービスを実施する	各指定利用者の居宅又は施設 台東区及び荒川区の一部	訪問看護師 25人	各指定利用者の居宅利用者	284人	143,834
	【横浜市寿地区】 精神疾患を中心に寿地域を含む高齢者・障がい者・生活困窮者の医療・看護を要する人に対しての訪問看護を実施した		各指定利用者の居宅又は施設 横浜市中区の一部	訪問看護師 6人	各指定利用者の居宅利用者	18人	25,044
	介護保険法に基づく通所介護事業、第1号通所事業 介護保険利用者へのデイサービスを提供した ・食事、入浴、レクレーション、リハビリテーション、送迎等	土日年末年始は休み	デイサービス	22人	各指定利用者の居宅利用者	68人	36,332
	介護保険法に基づく居宅介護支援事業 山谷地域を含む要介護認定者のケア計画作成　訪問看護と連携して利用者の生活支援を行った また、医療依存度の高い利用者を積極的に受け入れた	原則、祝日・日曜・年末年始は休み	指定利用者の居宅又は施設	4人	各指定利用者の居宅利用者	93人	10,021
健康保険法に基づく訪問看護事業	【山谷地区】 山谷地域を含む高齢者・障がい者・生活困窮者の医療・看護を要する人に対しての訪問看護を実施した	原則、祝日・日曜・年末年始は休みであるが必要時訪問する。 また緊急時24時間体制でサービスを実施する	各指定利用者の居宅又は施設 台東区及び荒川区の一部	訪問看護師 25人	各指定利用者の居宅利用者	187人	介護保険法に基づく訪問看護事業に含む
	【横浜市寿地区】 精神疾患を中心に寿地域を含む高齢者・障がい者・生活困窮者の医療・看護を要する人に対しての訪問看護を実施した		各指定利用者の居宅又は施設 横浜市中区の一部	訪問看護師 6人	各指定利用者の居宅利用者	43人	
高齢者・障害者・生活困窮者などの健康に関する調査・研究事業	【健康相談・結核関係】 城北労働福祉センター委託事業 ・健康相談・簡易旅館巡回健康相談を行った ・山谷地域越年対策医療援護業務	週5日　243回 月2回　23回 週2日　40回 12/29	城北よせば 娯楽室 簡易宿泊所 城北健康相談室	23人 28人 20人 3人	地域住民及び住所不定者 宿泊者 宿泊希望者	2,145人 289人 121人 3人	8,109
	【健康相談・結核関係】 ふるさとの会　健康相談 越年炊き出し健康相談（ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ） 東京援護会，東京都の委託事業 ・健康相談、アウトリーチ等 ・生活習慣病等の教育相談 ・結核発病者の発見教育相談	月3日　47回 12/31、1/3 週5日 週1日	敬老室 隅田川高架下 板橋寮 アウトリ-チ （豊島区、板橋区、練馬区、中野区、杉並区内）	4人 4人 6人 3人	地域住民及び住所不定者 板橋寮入寮者 住所不定者	118人 約100人 延394人 延132人	
健康教育、啓発を図る事業	【避難行動計画】 台東区委託事業 ・台東区内要支援者等の避難行動計画を作成する	7/20～3/31	台東区内 要支援者宅	3人	台東区内 要支援者	53人	261

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
健康教育、啓発を図る事業	【実習】 訪問看護において医学生・看護学生等の地域看護学実習を行った（Ｚｏｏｍ授業も含む）	6/6～2/10 142日	コスモス事業所 利用者宅 居住施設	20人	看護学生	79人	2,086
	デイサービスにおいて在宅看護論実習を行った	6/20～11/1 10日	デイサービス	7人	看護学生	12人	
	【学習会、研修会】 「誰もが安心して暮らせる社会を山谷の現状と課題から考える」	7/8			職員、外部	約80人	785
	「高齢者の尊厳をどう守るか（高齢者への虐待に着目して）」	9/2	デイサービス	6人	職員	20人	
	「私の生い立ちから浜田クリニックへ」	2/24			職員、外部	約50人	
	【広報等】 機関紙の発送を実施した	5/12, 11/2, 3/2	コスモス本部	3人	職員 正会員 利用者 事業所他	40人 79人 約150人 約100人	
	ホームページ更新・保守	随時更新		2人	ホームページ閲覧者		
保健衛生に関する地域再生の提案事業	【まちづくり】 （ボランティア・社会貢献事業） デイサービスを開放し、入浴提供，喫茶サービスを実施した	いこいの間 第1, 3土曜 23回	デイサービス	4人	地域住民及び住所不定者	277人	961
	特別公演 （おさるの京ちゃんと三味線）	11/10	デイサービス	3人	利用者、職員	約50人	
	クリスマスにカップケーキを配った	12/22	利用者宅	2人	利用者	170人	
	【新型コロナ感染症対策関係】 東京都訪問看護ステーション協会，台東区の委託事業 ・新型コロナ感染症患者在宅療養者への訪問看護・健康観察事業	週6日 原則、日曜・祝日・年末年始は休み	台東区内 療養者宅	7人	台東区療養者	3人	150
	・訪問看護事業所案内業務			2人	台東区当番医		
地域住民及び生活保護者等の宿泊所事業	【宿泊所事業】 独居での生活が困難な人達への宿泊施設の提供と生活維持への援助	通年	コスモスハウス『おはな』	10人	宿泊者	17人	32,226
	「日常生活支援住居施設」を実施		支援付きｱﾊﾟｰﾄ	4人	入居者	15人	
	一部の看取った利用者をコスモスの供養墓へ埋葬し、供養を行った	3/17	浄土宗光照院	1人	埋葬者	3人	

（２）その他の事業　　（事業費の総費用【　　】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人　数	事業費（千円）
なし					

活 動 計 算 書

特定非営利活動法人　訪問看護ステーション　コスモス

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ 経常収益			
1 会費・入会金収入		86,000	
2 訪問看護収入		273,564,424	
3 居宅介護支援収入		11,222,324	
4 通所介護収入		39,813,462	
5 利用者等サービス料収入		1,960,500	
6 健康相談事業収入		14,463,856	
7 助成金収入		4,969,388	
8 宿泊所事業収入		35,893,280	
9 寄附金収入		126,000	
10 その他収入		8,259,157	
経常収益合計			390,358,391
Ⅱ 経常費用			
1 事業費			
人件費			
給与手当	185,097,961		
法定福利費	27,553,678		
福利厚生費	6,927,382	219,579,021	
直接費			
給食材料費	5,792,698		
消耗品費	7,008,289		
旅費交通費	6,128,962		
車両費	468,089		
水道光熱費	4,286,784		
委託車両費	2,805,000		
減価償却費	11,971,694		
活動費	1,768,955	40,230,471	
2 管理費			
人件費			
給与手当	42,488,050		
法定福利費	5,947,292		
福利厚生費	2,530,973	50,966,315	
一般管理費			
旅費交通費	1,201,462		
研修諸会費	949,291		
通信運搬費	2,938,157		
事務消耗品費	2,841,013		
接待会議費	846,551		
修繕費	175,450		
水道光熱費	866,426		
賃借料	6,401,726		
保険料	577,228		
システム利用料	660,250		
租税公課	2,266,500		
雑費	5,896,805	25,620,859	
支払利息		228,246	
経常費用合計			336,624,912
当期経常増減額			53,733,479

活 動 計 算 書

特定非営利活動法人　訪問看護ステーション　コスモス

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	金　　額	
Ⅲ 経常外収益		
経常外収益計		0
Ⅳ 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		53,733,479
法人税、住民税及び事業税		15,175,467
当期正味財産増加額		38,558,012
前期繰越正味財産額		437,224,627
次期繰越正味財産額		475,782,639
元入金		1,561,060
正味財産合計額		477,343,699

貸借対照表

特定非営利活動法人　訪問看護ステーション　コスモス

令和5年3月31日　現在

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現預金	195,107,756		
売掛金	56,181,944		
貯蔵品	405,480		
仮払金	43,000		
前払金	445,128		
未収入金	5,648,468		
流動資産合計		257,831,776	
2 固定資産			
建物	117,668,623		
建物附属設備	45,481,286		
構築物	1,286,264		
車両運搬具	1		
工具器具備品	408,871		
借地権	94,631,522		
電話加入権	116,792		
ソフトウェア	891,000		
無形固定資産(リース資産)	1,291,620		
出資金	300,000		
差入保証金	50,000		
敷金	340,000		
保険積立金	8,031,808		
固定資産合計		270,497,787	
資産合計			528,329,563
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	13,484,323		
未払法人税等	15,690,500		
未払消費税等	713,200		
預り金	1,201,441		
預り保証金	418,800		
前受金	118,000		
流動負債合計		31,626,264	
2 固定負債			
長期借入金	18,000,000		
リース債務	1,359,600		
固定負債合計		19,359,600	
負債合計			50,985,864
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		437,224,627	
元入金		1,561,060	
当期正味財産増加額(減少額)		38,558,012	
正味財産合計額			477,343,699
負債及び正味財産合計			528,329,563

計算書類の注記

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

1．重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

法人税法に規定する定率法によっています。ただし、建物並びに平成30年4月1日以後に取得した附属設備及び構築物は定額法によっています。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっています。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、少額な契約を除きリース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2．固定資産の増減内訳

（単位：千円）

科　目	期首取得価額	取　得	減　少	期末取得価額	期首減価償却累計額	減少資産償却累計額	当期償却額	期末帳簿価額
有形固定資産	222,053	446		222,499	46,597		11,057	164,845
建物	151,468			151,468	27,273		6,526	117,669
建物附属設備	67,645			67,645	17,754		4,409	45,481
構築物	1,464			1,464	93		85	1,286
車両運搬具	1,477			1,477	1,476			0
器具及び備品		446		446			37	409
無形固定資産	98,827	990		99,817	1,971		915	96,931
借地権	94,632			94,632				94,632
電話加入権	117			117				117
ソフトウエア		990		990			99	891
ソフトウエア（リース資産）	4,079			4,079	1,971		816	1,292
投資その他の資産	8,720	2		8,722				8,722
出資金	300			300				300
敷金保証金	390			390				390
保険積立金	8,030	2		8,032				8,032

3．リース債務の増減内訳

（単位：千円）

科　目	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
リース債務	2,175		816	1,360
リース債務（短期）				
リース債務（長期）	2,175		816	1,360

4．借入金の増減内訳

（単位：千円）

科　目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
借入金	24,000		6,000	18,000
長期借入金	24,000		6,000	18,000

財 産 目 録

特定非営利活動法人　訪問看護ステーション　コスモス

令和5年3月31日　現在

（単位：円）

科目		金額		
Ⅰ 資産の部				
流動資産				
現預金				
現金	現金手許有高	561,180		
小口現金	現金手許有高	249,974		
普通預金	みずほ銀行	6,534,946		
普通預金	みずほ銀行	79,481,211		
普通預金	みずほ銀行	3,567,513		
普通預金	東京厚生信用組合	7,723,353		
普通預金	東京厚生信用組合	1,588,705		
普通預金	朝日信用金庫	8,860,937		
普通預金	朝日信用金庫	617,046		
普通預金	東京東信用金庫	47,970,236		
普通預金	東京東信用金庫	2,222,493		
通帳貯金	郵便局	864,547		
郵便振替	郵便局	437,357		
定期預金	東京厚生信用組合	25,566,870		
定期預金	朝日信用金庫	7,201,388		
定期積金	朝日信用金庫	100,000		
定期積金	東京厚生信用組合	1,560,000	195,107,756	
売掛金				
東京都国保連合会	(介)本部	18,166,331		
東京都国保連合会	(介)デイ	7,400,141		
東京都国保連合会	(介)居宅介護	1,992,288		
東京都国保連合会	(医)本部	6,577,626		
東京都社保診療基金	(医)本部	12,826,137		
神奈川国保連合会	(介)	1,773,246		
神奈川国保連合会	(医)	273,300		
神奈川社保診療基金	(医)	4,606,300		
城北労働福祉センター		1,640,100		
労働者災害補償保険		161,880		
自己負担		764,595	56,181,944	
貯蔵品				
DVDほか		405,480	405,480	
仮払金				
立替金		13,000		
仮払		30,000	43,000	
前払金				
長期損害保険料未経過相当AIG		432,620		
長期損害保険料未経過相当おはな		12,508	445,128	
未収入金				
ﾃﾞｼﾞﾀﾙ機器補助金	東京都	2,000,000		
日住委託事務費	東京都国民健康保険連合会	1,517,680		
支援計画委託料	台東区	611,994		
ｺﾛﾅ患者在宅医療者支援	東京都	464,000		
助成金その他	その他	1,054,794	5,648,468	
	流動資産合計			257,831,776

財 産 目 録

特定非営利活動法人　訪問看護ステーション　コスモス

令和5年3月31日　現在

（単位：円）

科目		金額		
固定資産				
建物	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		117,668,623	
建物附属設備	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		45,481,286	
構築物	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		1,286,264	
車両運搬具	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		1	
工具器具備品	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		408,871	
借地権	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		94,631,522	
電話加入権			116,792	
ソフトウエア	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		891,000	
無形固定資産（リース資産）	別紙「固定資産台帳兼減価償却明細書」		1,291,620	
出資金	東京厚生信用組合　出資金400口、朝日信金出資金		300,000	
差入保証金	セコム契約保証金		50,000	
敷金	建物・駐車場敷金、寿事務所敷金		340,000	
保険積立金	富国生命保険		8,031,808	
	固定資産合計			270,497,787
	資産合計			528,329,563
Ⅱ 負債の部				
流動負債				
未払費用				
従業員等給与	3月16～31日日割分	7,304,190		
法定福利費	社会保険料事業主負担	3,189,713		
車両費	デイサービス　委託	264,500		
給食材料費	ナチュラルファクトリージョーほか	457,463		
水道光熱費	電気、ガス、水道料	723,008		
通信費	NTTコミュニケーションズほか	93,106		
消耗品費	カウネットほか	404,392		
その他	その他費用	1,047,951	13,484,323	
未払法人税等	法人税・法人都民税見積計上額		15,690,500	
未払消費税等	消費税等計上額		713,200	
預り金	社会保険料等預り金		1,201,441	
預り保証金	そら・こかげ預り敷金		418,800	
前受金	おはな4月分家賃		118,000	
	流動負債合計			31,626,264
固定負債				
長期借入金				
東京厚生信用組合		18,000,000	18,000,000	
リース債務				
リコーリース		1,359,600	1,359,600	
	固定負債合計			19,359,600
	負債合計			50,985,864
Ⅲ 正味財産の部				
正味財産合計額				477,343,699
負債及び正味財産合計				528,329,563

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和　４年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　訪問看護ステーションコスモス

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	(理事)・監事	ﾔﾏｼﾀ　ﾏﾐｺ 山下　眞実子		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
2	(理事)・監事	ｵｵﾜｷ　ｶﾂﾔ 大脇　甲哉		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	(理事)・監事	ｲﾊ　ﾄﾓｺ 伊波　巴子		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　４年　６月２９日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	(理事)・監事	ﾆｼﾑﾗ　ｶｽﾞﾐ 西村　料美		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	(理事)・監事	ﾑｶｻ　ｱｷｺ 武笠　亜企子		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	(理事)・監事	ｵｵｼﾏ　ﾔｽｴ 大島　泰江		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
7	(理事)・監事	ｽﾅｶﾞ　ﾄﾐｵ 須永　十三男		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
8	(理事)・監事	ｷｶﾞﾜ　ﾐｶ 城川　美佳		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
9	(理事)・監事	ｳｻﾞﾜ　ｷｴｺ 鵜澤　喜恵子		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
10	(理事)・監事	ﾋﾗﾉ　ｻﾄｺ 平野　智子		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和　４年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　訪問看護ステーションコスモス

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
11	理事・(監事)	ﾐｳﾗ　ｹｲｲﾁ 三浦　啓一		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
12	理事・(監事)	ﾊﾗ　ﾊﾙｺ 原　春子		令和　４年　４月　１日 ～ 令和　５年　３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
13	理事・監事		以下余白	年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
14	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
15	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
16	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
17	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
18	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
19	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
20	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

~~設立~~・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　訪問看護ステーション コスモス

	氏　　名
1	山下　眞実子
2	西村　料美
3	武笠　亜企子
4	大島　泰江
5	大脇　甲哉
6	三浦　啓一
7	須永 十三男
8	城川　美佳
9	鵜澤 喜恵子
10	平野　智子
11	原　春子
12	羽原　克也

[redacted]